

事例32

< 事例概要 >

迷入

- ① 40 歳代、クローン病合併の潰瘍性大腸炎、イレウス、喘息、統合失調症の患者。
- ② 栄養管理目的で中心静脈カテーテルを長期留置しているため、入れ替え予定。
- ③ BMI 16.6 kg/m²。抗血栓薬の使用は無。
- ④ 右内頸静脈に留置していたカテーテルを入れ替えるため、左内頸静脈よりリアルタイム超音波ガイド下で穿刺。X線でカテーテル先端が上大静脈に届かない位置にあったため、数cm押し進めたが抵抗はなく、スムーズな逆血を認めた。再度X線でカテーテル先端を確認し、高カロリー輸液を開始。輸液開始3 日目に呼吸困難感、呼吸促迫を認め呼吸器科へ相談。気管支拡張薬を投与したが改善せず、輸液開始から4日後に呼吸停止となり死亡。
- ⑤ 死因は、中心静脈カテーテルの縦隔内迷入（詳細不明）。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。